

貝塚市議会議長 北尾 修 殿

地方議員研究会研修会参加報告書

公明党議員団 前園 隆博

日時； 平成 28 年 2 月 17 日(水) 10 時～16 時 30 分

場所； 新大阪丸ビル別館

講師； 樋渡啓祐（元武雄市長、樋渡社中 CEO）

1. よりよい一般質問のために（基礎編）

＊地方創生時代の地方議会と地方議員の役割

市民の声として、女性の声を聴いてほしいとの声が多い。地方議員は、マイナスをプラスに変えることが大事。行政はできない理由を作るが、できる理由にしてほしい。

＊議会を見てもらうためにすべきこと

議員は市民から頼りになる存在になること。そのためには①知識を持つこと、②情報発信をすること。モニターを設置するなどの提言など。

＊一般質問によって役所では何が行われているか

行政は逃げの答弁がある。これを逃がさないように、語尾をつかみ、いつどこで、だれがやるのかなど詳しく追求していく。

＊議員活動と一般質問の関係性

なるべく、多くの人と会う。個人報など活用する。

2. よりよい一般質問のために（応用編）

＊市長として受けた良い質問と悪い質問

良い質問は、導入、賞賛、提言で終わり、回答を求めない。（検討します、努力しますはしないという表示と思った方がよい）。数字を効果的に使用する。

成功パターンの例示

①旬な話題を探し、切実に訴える。

②地元を大事にする。そして先進事例に結び付ける。

- ③地元を大事にする。また、議員は観光客に地元の良さを宣伝していくことが大事。
- ④テーマを見つけてストーリーを作り、共感させる。そして応援、実行してもらうよう制度化する。

悪い質問は、上記ができていないため。上記ポイントをしっかり押さえてほしい。

＊効果的な質問、役所を動かす質問とは

テレビなどを使用し、論点を学ぶ。デフォルト→違うものに、さらに発展させていく。

＊模擬議会～模擬答弁を行い助言（希望者による模擬答弁がおこなわれた。）

全体を通して、樋渡氏が武雄市長時代に実践した経験、失敗等から学んだことを講義された。議会の活性化および議員の姿勢として学ぶことは多くあった。変えることができるのは議員であり、維持するのは行政の仕事である。しっかり参考にして、今後取り組んでいきたい。

以上